

佐久から始めよう! わたしたちの身近なSDGs 第1回

SDGsという言葉がニュースや新聞などでよく聞くようになりました。SDGsはSustainable Development Goalsを略したもので、「持続可能な開発目標」と称した国際社会共通の目標です。では、実際にわたしたちはどんなことができるのでしょうか?連載第1回となる今回は、SDGsに積極的に取り組む企業のひとつである(株)サワイの代表取締役社長 澤井孝幸氏にお話を聞きました。

“人幸力”で未来をつくる Well-being Life

株式会社サワイ (代表取締役社長 澤井孝幸)

SDGsの取り組みを始めたきっかけ

金属・精密加工を行う当社ですが、製造業という男性が主体で女性にはできる業務が限られている、といったイメージがまだまだ強いのではと思います。しかし現在では機器や使用器具の進化が進み、パネルを操作したり道具を使い分けることで性差なく安全に作業できるようになっています。ですから、女性社員の就業環境の向上のほか社員全体の働き方、健康を増進し維持することからメスを入れ始めました。

どのような取り組みを行っているか

SDGsを実践(実現)する上で、well-being経営と健康経営の活動が重要な鍵となっています。当社では私が創った言葉ですが「人幸力 -人を幸せにする力-」を常に追求し、より良いものづくりへと繋げていきたいと考えています。製品自体の価値だけでなく、創り手自身が健康と幸せであるからこそ、より良い製品が産まれます。そのため社員には就業時間でストレッチや歯科検診、セミナーなど自分の心身の健康と向き合う時間を作り、人幸力を高めることに重点を置いています。今年3月には、取り組みが評価され全国で500企業のみが認定される「ブライツ500」を佐久市内の企業で初めて取得しました。※ブライツ500は、健康経営優良法人認定制度における中小規模法人部門において上位500位に入る特に優れた施策を行う企業に贈られる。

今後の展望は

現在従業員のうち、女性は約1割。製造業で働こう、という人が多くないのが現状です。そのため、ものづくりに興味を持つ女性や子どもがもっと増えるといいなと思います。社屋のロッカールームや食堂を居心地の良いコミュニケーションがとりやすいように改装したり、社員の環境をより良くする課題はまだまだ沢山あります。

また最近、小学校の授業などで『"ものづくり"とは』というテーマでお話しをする機会もありました。小さな頃からものづくりに興味を持ってもらうきっかけになると同時に、次の世代である子どもたちの学びの機会にも携わっていきたいです。

健康は1日にして成らず、時間をかけて創っていくもの。いままで培ってきた技術・製品だけではなく、それを創り出す人とその家族の生活や健康に関心を高めることで、安心して長く働いてくれる従業員を増やしたいです。そして取り組みを続けることで巡り巡って、この佐久の地に還元することになると信じ、今後も取り組みを継続していきたいです。

株式会社サワイ 佐久市小田井1077 TEL.67-2251



ブライツ500の認定証を手にとる澤井社長。うちの社員は大人しいので社内の取り組みについてのレスポンスはまだあまりないんですよ、と笑う

